

特集号「大災害後の持続可能な社会と消費科学」に関する 論文公募のお知らせ

本学会では、時節に合致した有意義なテーマで特集号を組んで参りました。今回は 2013 年第 3 号に特集号刊行を予定しています。この機会に日頃の研究成果をご発表いただきたく、ふるってご応募下さいますようお願い申し上げます。

昨年 3 月には東日本大震災と福島第一原発の事故、長野県北部地震、9 月の台風 12 号による紀伊半島豪雨災害など大災害が多く発生しています。しかし、被災地の復興と被災者の生活再建は依然として困難を極めています。また電力不足が叫ばれて、全国的なエネルギー節約の重要性が示され、特に夏季・冬季には厳しい節電要求に対応した生活を余儀なくされています。これらは持続可能な社会を実現するために、地球温暖化防止に対応した様々な活動をより一層徹底することを求めています。同時に、これらは成長が期待される産業分野でもあることを示唆しています。

また、東日本大震災時に東京を中心に発生した大量の帰宅困難者の支援は、生活者が災害発生時に抱える不安材料であり、早急に具体的な方策が必要とされています。

これまで私たちの生活は大量生産、大量消費、大量廃棄が前提のエネルギー浪費型であったが、大地震・原発事故を経験し、持続可能な社会をめざす我々の消費生活は、今後大いなる転換を図らなければなりません。

これからも防災・減災のための具体的方策は多くの人々に必要とされますが、万一、大災害が発生した場合の帰宅困難者への支援、避難所生活支援、災害復興時の生活支援、暑さ・寒さに対応する方策は快適性研究の延長上でもあり、子供から高齢者まで、あるいは障がい者への対応もきめ細かくあらゆる分野で必要とされます。持続可能な社会の構築を強く意識した、生活に関連した消費科学的な研究を集約したいと考えています。よって、論文公募の対象分野は消費科学、衣(被)服学、住居学、快適性研究、消費者心理、福祉学、応用生理、健康科学など幅広いものを考えています。

[テーマ] 大災害後の持続可能な社会と消費科学

[執筆、応募要領]

- 学会投稿規程(第 53 巻第 1 号掲載、ホームページにも掲載)に従う。
(ア)テーマに即した独創的な価値ある内容の論文で、出版物に未発表のものに限る。
(イ)刷り上りで 6 ページ程度(図・表を含めて約 10,000 字)。
(ウ)図・写真はモノクロで鮮明なものに限る。
- 掲載料は規定が適応される。(但し、50 周年記念「若手育成基金」による「研究奨励金」がこの公募にも適用される—第 53 巻第 1 号掲載)
- 投稿に際し、原稿はカメラレディ方式で作成し、PDF ファイルにて保存する。本学会 Website 中の投稿規定よりダウンロードした投稿申込書の「希望する種別」欄の余白に「公募論文」と朱書きし、原稿とともに添付して事務局宛に電子メールにて送付すること。
- 原稿を郵送する場合には、表書きに「公募論文」と朱書きし、投稿申込書と原稿を 3 部ずつ印刷したものを同封すること。
- 投稿された論文の審査等は以下のとおりである。
(ア)審査に入る前にレビューを行い、テーマ・分野違いと判断された場合は、執筆者の許可を得て一般号の審査に回すことがある。
(イ)論文の審査は規定通りに行う。したがって補筆、修正を求めることがある。審査の結果、掲載されない場合がある。
(ウ)受付原稿は直ちに査読作業に入るが、審査や補筆・修正などに時間を要したため特集号に間に合わなかった場合は、通常の号に一般論文として掲載する。
(エ)掲載可になった時点で最終原稿を提出するとともに、使用した OS とワードのバージョンを事務局に知らせること。

[原稿の締切] 2012 年 10 月 31 日(水)当日必着。締め切り厳守とする。

[原稿の提出先] 社団法人 日本繊維製品消費科学会 Website[<http://homepage3.nifty.com/shohikagaku/>]
〒530-0035 大阪市北区同心 2-11-5-201 (洋仲扇町シティハイツ)
TEL:06-6358-1441 FAX:06-6358-1442 E-mail: syohikagaku@nifty.com